

とびひ

どのようにしていますか？ お母さん！

- ①「とびひ」は、正式には「伝染性濃痂疹」といい、黄色ブドウ球菌や連鎖球菌などの細菌が原因で起こる皮ふの感染症です。
- ②5～6月から夏にかけて、0歳から6歳くらいまでの子どもに多く見られます。虫さされやあせも、湿疹、すり傷など皮ふが傷ついたところから起こります。
- ③症状は、手足や顔、からだにかゆみのある水ぶくれができ、それがやぶれてジュクジュクします。かくと他の場所や他の子どもにつぎつぎに“飛び火”してどんどん広がっていくことからこう呼ばれます。
- ④治療：まずは、かかりつけの先生を受診しましょう。(1) のみぐすり；抗生剤を飲んで、身体の中から細菌をやっつけます。先生の指示通りに飲みましょう。(2) 消毒；皮ふの消毒薬で消毒し、清潔にしましょう。(3) ぬりぐすり；抗生剤の入った軟膏を塗ります。
- ⑤家庭で気をつけること
 - (1) 保育園や幼稚園には行ってもいいの？
他の子どもにうつさないように、保育園に行くときはガーゼをしましょう。程度にもよりますが数日休んでもらうこともあります。
 - (2) お風呂に入ってもいいの？
お風呂は入ってもいいですが、完全になおるまではシャワーやかけ湯くらいにとどめ湯ぶねにはつかからないほうが良いでしょう。先生が禁止した人以外は石けんを使って汚れを洗い流して皮ふを清潔にしましょう。
 - (3) プールには行ってもいいの？
なおるまでは入らないようにしましょう。
- ⑥こんなときはもう一度診察を！
 - (1) 熱が出て様子がおかしいとき
 - (2) 2日以上たっても水ぶくれが増えるとき
 - (3) 顔やからだがか赤く腫れるとき
- ⑦予防
 1. 夏は毎日お風呂に入って石けんでよく洗い清潔に！
 2. 湿疹、アトピー性皮膚炎の治療につとめましょう。
 3. 虫さされ、すり傷などは早めに治しましょう。
 4. 爪は短く切り、遊んだ後は手を洗いましょう。
 5. 清潔第一、ひっかかないようにしましょう。

